

第5回JDKF.空手道競技大会

競技申し合わせ事項

競技について

試合ルールは、(公財)全日本空手道連盟 競技規定(組手競技、形競技) および本大会競技規定・申し合わせ事項に準じる。

形競技

1. トーナメント方式で、決勝戦まで赤青同時演武の5人制フラッグ方式で行う。
2. 形の選定は、全空連の基本形、指定形、及び得意形リストから選ぶ。
3. 初戦から決勝戦まで同じ形を繰り返し演武できる。
4. 3位決定戦は行わない。
5. 競技開始前に、係員が赤青のそれぞれ演武する形名の表示ボードを各審判員に見せ、テーブルに掲示しておく。(表示ボードは紙媒体とデジタル端末(iPad)がある。)
6. 選手は事前に形名を申告カードに書いて申告すること。(招集時に選手から係員に提出する)
7. 試合中のマスクの着用は必須とする。(出来れば不織布マスクが望ましい)
8. 形名の申告は、手話もしくは発声とすること。(手話での申告が望ましい)
9. 競技中の気合い発声は可とする。
10. 時間短縮のため、回戦ごとの礼は省略する。
11. コート入場方法は斜め入場とし、コート外での礼は省略する。(コート内での始めと終わりの礼は必須とする。) ※3ページ参照
12. もし形が途中で止まり、最後まで出来なくても、反則とせず判定をする。

組手競技

1. トーナメント方式で行う。
2. 3位決定戦は行わない。
3. 競技時間は、全競技1分30秒間フルタイムとする。
4. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。
5. 10カウントルールは、適用しない。
6. 小学生以下の部においては、突き蹴りともに、上段へ接触した場合は軽微であっても原則的にC1違反とする。
7. 小学生以下の部においては、足払い、投げ技を禁止する。
8. 次の合図においては、情報保障のために、ライトを点灯する。
 - ・ヤメ：赤色(回転灯)・・・選手の動きが止まるまで。
 - ・あとしばらく：青色(回転灯)・・・2秒間点灯
9. 安全具
拳サポーター、メンホー(口元シールド必須)、胴プロテクター、シンガード・インステップガードの着用を必須とする。
大会で使用出来る安全具はメンホー、ボディプロテクターは全空連またはWKF公認、シンガード・インステップガード、拳サポーターは全空連、高体連またはWKF公認のものとする。
10. ファールカップは小学5年生以上の着用を必須とする。小学4年生以下は任意とする。
11. 競技場への入退場時はマスクを着用し、競技中はメンホー+メンホー用口元シールドを装着し、競技中の気合い発声は可とする。
12. 試合中メンホー或いは、マウスシールドが取れた場合、試合は一旦停止をし、コート内でのソーシャルディスタンスを保ち、防具を装着し、試合を再開すること。

服装

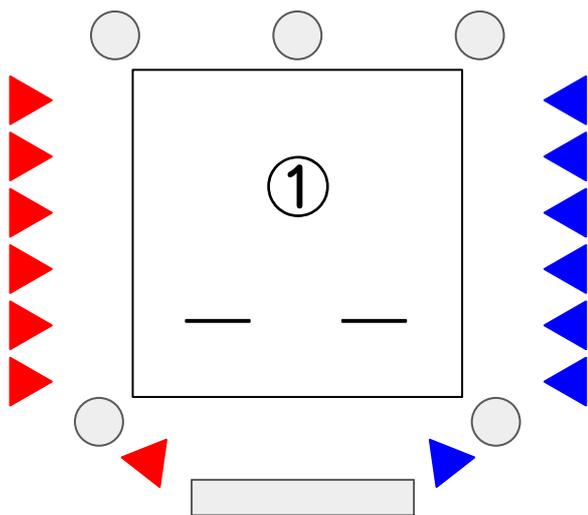
- 胸マークは自由とする。
- 自分の赤帯・青帯（マイ帯）を着用すること。
もしくは赤紐・青紐（マイ紐）を自分の帯の上から着用すること。
マイ帯/マイ紐を持っていない選手はJDKFの赤紐・青紐を借用し、終了後は必ず返却すること。
- 形競技での補装具の装着を認める。

その他

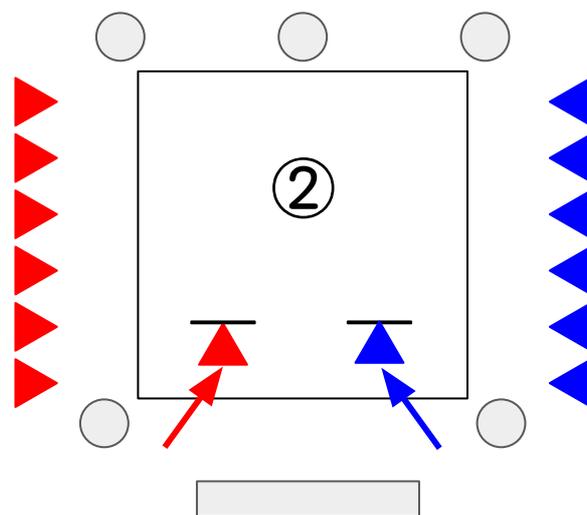
- 開会式や閉会式等の式典は行わない。
- 開会式を開始式に変更し、審判長の開始の発声および「はじめ」の手話のみとする。
- 参加者が1名の場合は、競技を行わず、演武披露のみとする。
- 大会の様様をインターネットライブ配信およびケーブルテレビ放映を予定しています。
(ABのうち、Aコートを中心に中継します。)

以上

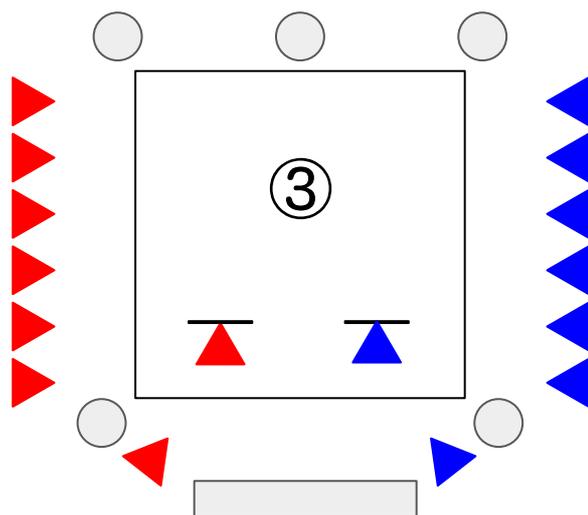
第5回JDKF. 空手道競技大会 形競技の入退場方法について



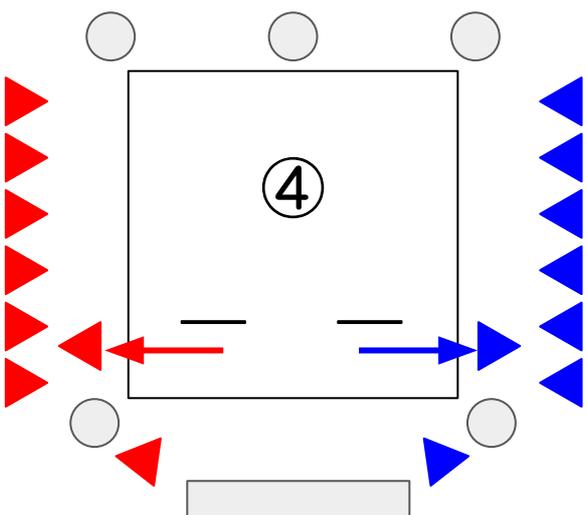
- ・選手はコート機の脇で待機する



- ・係員の呼び出しで返事をして開始位置へ入場
- ・直接斜め入場で開始位置まで入場する
- ・コートに入る前の礼は省略する
- ・正面に礼をして、赤の選手から順に形名申告（手話または発声）
- ・主審の合図で形をスタートする



- ・形が終了し礼をしたら開始位置に留まる
- ・笛の合図で審判が判定を行う
- ・主審が「赤（または青）の勝ち」を宣告する
- ・次の選手はコート機の脇で待機する



- ・判定後、選手は真横へ退場する
- ・係員は速やかに次の選手を呼び出す
- ・勝った選手は次の回戦の赤・青を聞いて移動
- ・負けた選手は退出する

- ・試合中のマスクの着用は必須とします。
- ・形名申告カードは招集時に係員に提出してください。
- ・大会のスムーズな進行にご協力をお願いいたします。